

# 令和5年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート

## 1 地域社会への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県の行政施策と連携した取組	県各部署とのコラボ展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>県各部署へのPR</li> <li>展示の実施</li> <li>「読書お便りコンクール」市町村巡回展示の実施</li> </ul>	ギャラリー展示回数【6回】 前半は県立高等学校や一般県民の利用が中心となった。行政連携展示は主に年度後半に実施した。 <実績・予定> ①7月 「人を守る」というやりがい (自衛隊新潟地方協力本部) ②8月 「ワンヘルス」について (新潟県獣医師会) ③12月 「海洋プラスチックごみ」削減に向けたパネル展 (県資源循環推進課資源環境企画係) ④1月 「拉致問題を考える巡回パネル展」 (県知事政策局国際課拉致問題調整室) ⑤2月 ミニ・生命のメッセージ展/出張ナスバギャラリーが伝える交通安全展 (独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所) ⑥2月 ハンセン病パネル展 (県福祉保健部感染症対策・薬務課) ⑦3月 にいがたフォレストリーマガジン写真展 (県農林水産部林政課)	7回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県各部署等との連携により、目標を達成した。次年度以降も行政連携展示により、県施策の県民への周知に取り組む。また、県民利用とのバランスも図りながら、貴重資料展や読書バリアフリー展、新春掛軸展等の所蔵資料展示も引き続き実施し、図書館の魅力発信とギャラリー展示の充実につなげていく。	A	県各部署との連携は達成できており評価できる。 拉致やハンセン病等の行政情報や県立図書館で所蔵する資料をギャラリー展示し美術館や博物館的な役割を果たし、関連した図書の利用拡大につなげていただきたい。 県の施策や県立美術館等の施設を県民にPRする場としてのコラボ展示等の図書館利用は効果的である。引続きの実施を望む。
	特設コーナーにおける県行政施策の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策広報コーナーの整備</li> <li>パブリックコメント・コーナーの充実</li> <li>県各部署への周知</li> <li>展示の実施</li> </ul>	コーナー展示回数【24回】 図書のコーナー展示に際して展示の様子を撮影した画像や利用状況を連携部署と共有し、双方のSNSやホームページで広報することにより効果的な情報発信に努め、展示図書の利用促進を目指し事業に取り組んだ。 <実績> 4月 政策企画課、新潟県発達障がい者支援センターRISE、県立万代島美術館 5月 県立歴史博物館 6月 総務部行政改革課、県立万代島美術館、新潟県観光協会 7月 県立近代美術館、生涯学習推進課 8月 県立歴史博物館、食品・流通課 9月 障害福祉課、県立万代島美術館、新潟県消費生活センター 10月 県立近代美術館、教育庁総務課 11月 健康づくり支援課、県立歴史博物館 12月 障害福祉課、空港課 1月 新潟県消費生活センター 2月 県立歴史博物館、健康づくり支援課、新潟県消費生活センター	28回	達成率117% 評価 (5) 100%以上	県施策に関する図書のPR展示について県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、今年度もコンスタントに申込があった。連携先の希望に合わせて展示を実施するよう調整している。今後も図書展示を実施し、県民の課題解決への支援につなげていく。	A	今後は回数ありきや貸出冊数ではなく、質の向上を図る取り組みが必要なのではないか。より見られる展示の仕方や内容の工夫、具体的にはSDGsにかかる項目などについて、各部署、課などにコラボを働きかけるなど提案型の企画などもあっていいのではないかと。ギャラリー展示やコーナー展示は回数での評価となっているが、観覧した人数、どれだけの興味を引いたかなども評価の要因ではないかと。
	県各部署への情報提供の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>県庁貸出の手续改善</li> <li>県各部署への周知</li> </ul>	県庁貸出冊数【120冊】	県職員専用ポータルサイトを活用してサービスの周知を実施した。県行政を支える取組として、県各所属や職員への情報提供によるサポート体制の充実を目指し、更なる手続きの簡素化など運用改善を図った。	185冊	達成率154% 評価 (5) 100%以上	県庁貸出サービスについて県職員専用ポータルサイトで呼びかけを行っており、貸出冊数は順調に推移している。今後も引き続き周知を図りながら、利用増に向けて取り組んでいく。	A

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	新潟県関係資料の積極的収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>出版情報の多角的な把握</li> <li>積極的収集と展示</li> <li>書庫等の保存環境の整備</li> <li>デジタル化も見ずえた行政資料の収集・展示の改善</li> </ul>		出版情報の収集から資料を入手して受入するまでの一連の業務の効率化を図るため、作業を細分化し複数の職員で取り組んだ。 閲覧室内では、新潟県にゆかりのある人物や物事をテーマにした展示を月ごとに実施し、郷土資料のPRに努めた。			各種の利用促進策に取り組んだ結果、新聞等で取り上げられた資料等の迅速な提供につながり、郷土資料の貸出冊数は昨年同期を上回った。 引き続き利用促進に取り組んでいく。		県の行政資料、例えば白書・統計等がデジタル化されたりしているが、その資料は提供され保存されているのか。また行政にかかる資料で貴重なものもあるが、廃棄されているものも多いのが現状である。積極的に行政に資料提供を求めているか。
	越後佐渡デジタルライブラリーの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル資料の追加</li> <li>利用環境の整備</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	デジタル化画像数【1,000点】	今年度は3機関から参加申し込みがあり、11月、12月に各施設に訪問し撮影を行った。 撮影画像は3月までにデジタルライブラリーに追加、公開する予定である。	529点 (画像数) (撮影資料点数34)	達成率53% 評価(1) 70%未満	撮影対象の大半が書籍ではなく掛け軸などの一枚ものの資料であったことから、撮影資料数に比べ、画像数の方が目標値を大きく下回ることとなった。	E	越後佐渡デジタルライブラリーについて撮影点数は図書でなく地図や掛図等の1点ものが多いためE評価であるのは仕方がないものであり許容されるものである。 デジタル資料数が増えることは利用者にとってありがたい。
			アクセス件数【12,000件】	ホームページの更新に際して、デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。 デジタルライブラリーのトップ画面において、デジタル化資料を様々な切り口で紹介し、PRに努めている。	23,048件	達成率192% 評価(5) 100%以上	デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標値を大きく上回った。 一方でデジタルライブラリートップ画面への訪問数は減少していることから、魅力的なページとなるよう引き続き検討を重ねていく。	A	越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス数は目標値を大幅に更新しており、テーマ展示やデータベース活用事例など気軽に楽しめるコンテンツも提供されており、今後もコンテンツの充実をしていただきたい。 利用者と新潟県立図書館をつなぎ合わせるホームページの存在は実に大きい。そのような観点から、「デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタン」や「郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタン」を、トップページに設けたことは意義深い。更なるホームページの充実を期待する。 デジタル資料の利用の仕方も使いやすくなるように考慮してほしい。
	郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの登録</li> <li>利用者へのPR</li> </ul>	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引、郷土雑誌記事索引のいずれも採録資料を選定し、データ登録を行った。 3月に当館ホームページ上において公開する予定である。	3,998件	達成率160% 評価(5) 100%以上	目標を超える件数を登録することができた。 今後も登録作業を進め、データベースの充実を努めていきたい。	A	
			アクセス件数【5,300件】	ホームページの更新に際して、郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた。 10月には、「としよかん探偵 データベース活用事例」のページを新設し、第1弾として土田表儼の検索例を公開し、PRを図った。	12,104件	達成率228% 評価(5) 100%以上	郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタンを図書館トップページに設けた結果、目標を大きく上回った。 引き続き活用事例を紹介するなど、コンテンツの質の向上を目指していきたい。	A	越後佐渡デジタルライブラリーや郷土人物/雑誌記事索引データベースのアクセス数は目標値を大幅に更新しており、テーマ展示やデータベース活用事例など気軽に楽しめるコンテンツも提供されており、今後もコンテンツの充実をしていただきたい。(再掲) 利用者と新潟県立図書館をつなぎ合わせるホームページの存在は実に大きい。そのような観点から、「デジタルライブラリーの検索画面へのリンクボタン」や「郷土人物/雑誌記事索引データベースの検索画面へのリンクボタン」を、トップページに設けたことは意義深い。更なるホームページの充実を期待する。(再掲)